

うつのみや

しゃ きょう



平成23年10月1日発行

◆ 142号 ◆

編集発行
社会福祉法人

宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
F A X 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyoo.or.jp>



社協だより



ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問



いいお天気ですね！
体調はいかがですか？



大丈夫ですよ。
いつも、ありがとう。

【ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問】

市内のおおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者の方を定期的に訪問し、乳酸菌飲料を本人に手渡し声かけをすることにより、見守りを行っています。

◎費用：無料

◎お申込み：お住まいの区域担当の
民生委員にお申し出ください。

【お問い合わせ】

福祉サービス課
電話 636-1215 FAX 610-6605

—— “うつのみや社協だより” は、「回覧」です。よろしくお願ひ申し上げます。 ——

「地区社会福祉協議会」ってなに？ どんな活動をしているの？



～地区社会福祉協議会（地区社協）とは？～

地区社協は、市内39地区（連合自治会単位）すべてに設置され、それぞれの地域できめ細かな地域福祉活動（事業）を展開しています。

自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会などの地域の関係機関や地域住民の方々など、幅広い分野から参画いただいています。

～どんな活動をしているの？～

①福祉協力員による「見守り・声かけ」などの活動

近隣で生活に不安を抱えるの方々に対し、見守り・声かけや、地区の様々な福祉事業へお誘いする活動を行っています。

②ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会の実施

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、孤独感の解消や生きがいづくりや地域の方々との交流の機会として、定期的に会食会などを行っています。

③敬老会の開催

④その他

各地区の実情に応じて、「男性高齢者調理講習会」、「地区社協だよりの発行」、「地区福祉まつり」や、地域の生活・福祉ニーズに沿った自主的な活動も行っています。



これから「社協だより」では、宇都宮市内39地区社協が、各地区において取り組んでいる地域福祉活動（事業）について、それぞれ順次ご紹介していきます。

【お問い合わせ】
地域福祉課
電話 636-1215 FAX 610-6605

地区社協活動紹介コーナー

西原地区社会福祉協議会

西原地区は宇都宮市中心部の南西に位置し、うつのみや百景に選ばれている「新川の桜並木」や県指定天然記念物となっている「新町のケヤキ」など、長い間地域で守り続けてきた自然の豊かさが残る地区です。



～ふれあい会食会で地域の小学生と交流～

西原地区社協は、昭和56年に宇都宮市で最初に「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会」を実施しました。そして昨年度、ついに30周年を迎えました。会食会は地域包括支援センターの職員や保健師による日常生活についての講話や、警察による防犯対策についての講話などを取り入れながら、毎月1回地域コミュニティセンターを会場に、実施しています。



福祉協力員と民生委員児童委員、婦人会、その他関係機関の方々との協働で、毎回約150食のおいしい食事を心をこめて手作りしています。

また毎年8月には、地域の留守家庭児童会の子どもたちを招待して、いつもの会食とは一味違った「カレーパーティー」を開催しています。毎年楽しみにされている方も多く、今年は8月2日に行われ、子どもたちとおしゃべりをしながら、一緒においしいカレーをいただき、子どもたちから歌と踊りのプレゼントがありました。いつもより少しにぎやかな1日となり、参加された方々は楽しい時間を過ごしました。

会食会を通して、地域の方々の交流が促進され、地域の中で“顔の見える関係”が作られています。



皆さん明るいばかり。
料理を作るのも楽しいです。

みんなで歌って、ダンスも
かわいくて楽しかった



峰 地区 社会福祉協議会



峰地区はJR宇都宮駅の東に位置し、宇都宮大学と共に栄えた閑静な住宅街です。地域住民の高齢化が進む一方で、大学の学生や教職員なども多く居住しており、近年では地域と大学との交流も盛んになっています。



「地区別ひとり暮らし高齢者茶話会」実施地区

- ①峰第一自治会
- ②峰第二自治会・平松町自治会
- ③峰町第三自治会
- ④東峰中一自治会・東峰自治会
- ⑤向原自治会
- ⑥峰向原自治会
- ⑦宇都宮大学南自治会・平松本町第2自治会

～地区（自治会）別ひとり暮らし高齢者茶話会～

峰地区社協では昭和58年より、ひとり暮らし高齢者の方を対象にふれあい会食会を開始し、現在は峰小学校の家庭科室を会場に月に1回実施しています。

しかし、身体的理由などで会場まで来ることができない方も多いため、もっと身近に気軽に集まれるよう、昨年より地区を7か所の区域に分けて、地域の公民館を会場に「**地区別ひとり暮らし高齢者茶話会**」をはじめました。

茶話会では、手作りの食事を提供したり、カラオケや頭の体操を行ったりしながら、近隣の方と交流を深め楽しい時間を過ごしています。

今年度は、6月に第1回目を実施し、次のような声がありました。2回目は10月に実施する予定です。



もっと回数を増やしてほしいな

公民館なら歩いて行けるね！

近所の人が多くて安心。

城山 地区 社会福祉協議会



城山地区は宇都宮市の北西部に位置し、約23,300人（約9,000世帯）の方が暮らしています。古くからの農村地、山間地、また新しい住宅地などが混在する歴史ある地区で、大谷石の採掘地域としても有名です。

～緊急情報キットを配布。冷蔵庫にあたたかい“安心”を～

城山地区社協では7月から、地域コミュニティ協議会など、地域の関係機関と協働で「緊急情報キット」を作成し、福祉協力員や民生委員児童委員が、ひとり暮らし高齢者世帯など約1,000世帯の方々に、配布しています。配布された方からは、「毎日安心してすごせる」と、うれしい声をいただいています。

緊急情報キットをきっかけに、地域ぐるみで、支えあい・助けあいの地域づくりを推進しています。

「**緊急情報キット**」とは、自宅で救助が必要な時などの万が一の際に、救急隊員が対象者の情報を一目でわかるよう、個人の病歴や緊急連絡先などを記入した用紙、健康保険証のコピー、診察券やお薬手帳のコピーなどをプラスチック容器に入れ、冷蔵庫に保管するものです。玄関と冷蔵庫にも保管の証としてステッカーを貼っておき、緊急時や災害時は救急隊員がそれを見て、適切な早期対応ができます。



城山地区社協三浦会長
「他の地区でも広がってほしい」



「救急情報キット」

ボラセン情報
コーナー



災害福祉救援ボランティア養成講座を開講 ～33名が修了しました～

6月11日から7月9日までの毎週土曜日、全5回シリーズで「災害福祉救援ボランティア養成講座」を開講しました。

この講座は、講義や演習・実技体験などを通して具体的な救援方法や技術を学ぶことで、災害福祉救援ボランティアを育成し、防災意識の普及・啓発と災害時への備え、災害時ネットワーク構築を目的としています。

講座では、災害時のボランティア活動の基本についての講義や、災害時要援護者理解のための福祉体験や炊き出し訓練、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練などを実施しました。



▲三角巾を使った応急手当の方法の実演

東日本大震災 被災地支援活動報告

3月11日の東日本大震災発生以降、宇都宮市社協では、東北地方の被災地にボランティアの力を届ける、復興支援のためのボランティア活動を行いました。

毎回、現地の被害状況の大きさを改めて目の当たりにしましたが、被災地が復興に向けて着実に進んでいる様子、また、ボランティアのパワーの素晴らしさを感じています。

宮城県石巻市、七ヶ浜町で 復興支援ボランティア活動を実施

(朝日新聞厚生文化事業団 災害ボランティアセンター緊急助成を活用)

1回目	H23. 4. 30	宮城県石巻市	参加者48名
2回目	H23. 6. 10	宮城県石巻市	参加者29名
3回目	H23. 7. 8	宮城県七ヶ浜町	参加者19名
4回目	H23. 7. 22	宮城県七ヶ浜町	参加者20名
5回目	H23. 7. 30	宮城県七ヶ浜町	参加者50名

参加されているボランティアの方々は、年代や職業も様々です。5回目の7月30日には、高校生や大学生、聴覚障がい者、会社員、自営業の方の他、災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生など多くの方にご参加いただきましたが、参加の動機は、「困っている人たちの力になりたい」という同じ想いです。

被災地の復興には、長期的な支援が不可欠です。今後も、皆様のご支援をお願いします。



▲個人宅の泥出し (H23.7.8)



▲側溝の泥出し (H23.7.22)



▲個人宅の瓦礫撤去 (H23.7.30)

シリーズ

福祉共育(教育)

第1回

～視覚障がい Part.1～

ボランティアセンターでは、障がいの理解を基本とした福祉共育(教育)を推進しています。「教育」と聞くと子供たちが対象と思われがちですが、誰もが住み慣れた地域で、安心して、笑顔で生活していくためには、障がいの有無に関わらず、お互いを受容し、理解するための大人の方も含めた学び(福祉共育(教育))が大切です。今回から、シリーズで障がいの理解についてご紹介していきます。

※共育とは……子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育っていく・成長していくという意味です。

♥視覚障がいってどんな障がい?

「視覚障がい者」には、全く見えない、または光の明暗だけが分かる方(全盲)、少し見えるが視力が弱い方(弱視)がいます。私たち人間は、情報の約80%を目から得ていると言われていますが、視覚障がい者は、視覚以外のあらゆる感覚を使って情報を集めています。

目が見えない、または見えにくいことによって、「移動面の支援」「情報面の支援」が必要になりますが、移動の際の誘導(手引き)や普段使う日常生活品に少しの工夫を加える(点字を付けるなど)ことで自分で出来ること、一緒に出来ることもありますので、視覚障がいを一つの「個性」として捉え、その方に合わせた支援を行うことが大切です。

♥日常生活の中で見られる工夫<例>

■バスカード



カードの種類によって、溝の数異なります。また、溝の位置によりカードの表裏が判断でき、挿入方向がわかります。

- 1,100 円のカード：溝 1 個
- 3,370 円のカード：溝 2 個
- 5,700 円のカード：溝 3 個

■点字トランプ



トランプに点字が打ってあるので、一緒に楽しむことができます。

■ソース・ケチャップ



ふたや、側面に点字が打ってあります。

これらの他にも、私たちの身近な暮らしの中に、さまざまな工夫があります。少し気にして見てみると、たくさん見つけることができます。

出前福祉講座をご利用ください

ボランティアセンターでは、「学校」「地域」「企業」などの団体を対象に、福祉について理解していただくことを目的に、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力により、出前福祉講座を実施しています。

講座のメニュー

講座名	内容
視覚障がいの理解	視覚障がい者による講話 盲導犬の育成に関する講話 アイマスク体験 点字体験 など
聴覚障がいの理解	聴覚障がい者による講話 手話体験 など
身体障がいの理解	身体障がい者による講話 車いす介助体験 車いすバスケットボール体験 など
ボランティアの理解	ボランティアについての講話

講座開催にあたってのお願い

- (1) 時間的余裕をもってお申し込みください。
 - ①実施希望日の2ヵ月前を目安にお申し込みください。
 - ②実施方法などは、事前にご相談ください。
- (2) 講師・アシスタントの交通費のご負担をお願いします。

講師・アシスタントの負担を軽減し、継続的に活動を続けていただくためにも、ご理解をお願いします。

(※講座の開催費用は無料です。)

【お問い合わせ】

ボランティアセンター 電話 636-1285 FAX 634-2870

今年も老人福祉センターに
お祭りの季節がやってきました！



老人福祉センターまつりのご案内



教養講座及び自主講座の受講生等の作品展示・発表会や、地元新鮮野菜の即売会・地域協賛模擬店等、楽しい催しものが、もりだくさん！皆さまのお越しをお待ちしています♪

ふれあい荘文化祭

日時：平成23年10月19日(水)～20日(木)
午前10時～午後3時
場所：ふれあい荘(陽東2-3-1)
電話・FAX 663-3156



上河内老人福祉センター福祉まつり

日時：平成23年10月22日(土)
午前10時～午後2時
場所：上河内老人福祉センター(松田新田町116-1)
電話 674-4003 FAX 674-4258



ことぶき会館文化祭

日時：平成23年10月22日(土)～23日(日)
午前10時～午後3時
場所：ことぶき会館(屋板町558)
電話・FAX 656-8792



やすらぎ荘文化祭

日時：平成23年10月23日(日)～24日(月)
午前10時～午後3時
場所：やすらぎ荘(宝木本町1991-1)
電話・FAX 665-5284



すこやか荘文化祭

日時：平成23年11月18日(金)～19日(土)
午前10時～午後3時
場所：すこやか荘(下砥上町1259-3)
電話・FAX 648-7750

※詳しくは、各老人福祉センターまでお問い合わせください。

障がい者福祉センターからのご案内

当センターで開催している各種講座受講生の作品を下記のイベントなどで展示いたします。

「カルフルとちぎ2011」

会場：とちぎ福祉プラザ
期日：11月18日(金)～19日(土)

「宇都宮市民福祉の祭典」

会場：市総合福祉センター
期日：11月23日(水) 勤労感謝の日

「宇都宮市民プラザ」(催事コーナー)

会場：表参道スクエア5階
期日：11月28日(月)～12月9日(金)

～8つの講座の作品展示があります。ぜひ、ご覧ください～



パンフラワー



水墨画

【お問い合わせ】 宇都宮市障がい者福祉センター
宇都宮市中央1-1-15総合福祉センター2階
電話 639-1050 FAX 639-1052



遊びに来ませんか?

宇都宮市ゆうあいひろば

「宇都宮市ゆうあいひろば」はボールプールやたくさんの大型遊具がある屋内のあそび広場です。読み聞かせや、工作などの楽しいイベントがいっぱい!ぜひお越しください。

利用できる方

- あそび広場…乳幼児～小学6年生
(※就学前のお子さんには保護者の同伴が必要です。)
- 青少年エリア…中学生・高校生

開館時間：午前9時～午後6時(青少年エリアは午後7時まで。)

開館日：毎日(年末年始及び定期点検日除く)

利用料：無料



くるくるハムスター



フルンとどらいぶ



ボールプール

【お問い合わせ】

宇都宮市ゆうあいひろば
宇都宮市馬場通り4-1-1うつのみや表参道スクエア6階
電話 616-1570 FAX 616-1572

ぎんなん基金にご協力ありがとうございました

H23年6月1日～8月16日

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
6月	佐々木康子	4,823
	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	17,000
	三信電工(株)	6,390
	フレール戸祭店 お客様一同	7,275
	築島時三郎	2,000
	河内地区カラオケ同好会 代表 大塚久雄	13,760
7月	栃木県歌謡協会宇都宮北支部	23,081
	三信電工(株)	13,570
	河内地区ふれあいカラオケ舞踊ショー	17,885
	匿名	6,376
	築島時三郎	2,000
	さつきダンス	1,770
	ステップグリーン東	7,000
	ステップグリーン南	10,000
	ステップグリーン松原	12,000

	寄附者(団体)	金額(円)
7月	ステップグリーンあさひ	3,000
	ステップグリーン輝き	15,618
	ステップグリーン石井	2,000
	ステップグリーン姿川	13,200
	ステップグリーン中央	15,000
	ステップグリーン宮	3,268
8月	シェイクハンズ友の会	7,000
	手塚征史	2,000
	ビッグサンユ-駒生店 お客様一同	11,172
	御幸地区夏祭り実行委員会	3,351
	障がい者生活支援センター(ここほっとまつり益金)	17,758
	岡地正子	5,045
かましんカルナ戸祭店 お客様一同	24,400	
(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	10,000	

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

～自分たちが暮らすまち、自分たちが育ったまちに、やさしさを届ける募金です～

運動実施期間 10月1日～12月31日



共同募金は、身近な地域の福祉を応援するための募金で、あらかじめ地域の福祉施設・団体から申請を受け付けるなど、配分計画を立てて募金活動を行う、社会福祉法に定められた募金活動です。

今年も皆様の 温かいご支援・ご協力を お願いいたします



「赤い羽根共同募金」は、都道府県共同募金会ごとに配分（募金のつかいみち）計画がたてられます。栃木県では、宇都宮市をはじめ県内の民間の社会福祉施設・福祉団体等へ配分されています。また、ボランティア活動など住民相互の助けあい活動や災害時のボランティア活動支援などへの配分も行っています。

「歳末たすけあい募金」は、市町共同募金会ごとに配分（募金のつかいみち）計画がたてられます。宇都宮市では、支援を必要とする方々のために地域が行う年末年始事業や、障がいのある方が働く作業所等の福祉施設での事業など、地域の方が参加する地域に密着した様々な福祉活動に配分しています。

【お問い合わせ】 栃木県共同募金会 宇都宮市支会（宇都宮市社会福祉協議会内） 電話 636-1215

ご存知ですか？福祉Q&A

第2回

共同募金について

Q1 どうして赤い羽根を使うのですか？

A1 赤い羽根は世界中で勇気や良い行いの象徴とされてきました。アメリカの共同募金で「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルとして赤い羽根が使われたことから、日本でも昭和23年から、赤い羽根を使うようになりました。

アメリカの先住民や、三銃士、ロビンフットなども、帽子に赤い羽根をつけていました。



Q2 共同募金は誰が始めたのですか？

A2 はるか昔、スイスの山深い街の牧師さんが、「与えよ」「取れよ」と書かれた箱を道路わきに置き、人々が箱の中にお金を入れて、それを困った人が自由にもっていったことが始まりと言われていています。「匿名性」「任意性」「信頼性」が三つの基礎となり、共同募金運動につながっていきました。

羽根を使った募金は他にもたくさんありました！

- 青 : 水難救助
- 黄色: 医療バンク(腎臓移植などの支援)
- 緑 : 緑化運動
- 水色: 水難遺児の援助
- 黒 : 炭鉱事故・遺族の支援

